

対象者:R5年度利用者 25名 回収数 16名 無回答は数値に含んでいないため回答数と一致しません

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	5		1	運動スペースがもう少し広いと子ども達も広々使えるのかなあとたまに思います	(子どもたちがエリアの意味をわかって安心して過ごせるように環境を整えています)
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1		1	看護師はいるが、言語聴覚士や心理士の配置はないと思う	(玄関に職員配置を掲示しています。来所の際ご確認ください) (国で定められている資格や人員は守って配置しています)
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1				
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	16				悩みなど色々聞いて頂きながら作成していただきました	(日々のご自宅の様子等をお伺いし、一緒に確認しながら作成できるように努めます)
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14			2		(面談の際に、丁寧に説明するよう努めます)
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	15			1	鉛筆、はさみなど道具を使う活動をもう少し増やしてほしいと思います	(道具を使った活動も取り入れて行こうと思います) (また変更や中止、活動の選択を入れ、固定化されないようを組むようにしています)
	9 社会資源(公園・公民館等)を活用し、障害のない子どもと交流・活動する機会があるか	13	1		2	園外の活動や買い物体験などは組まれていない	(公園に行ったり、カヌー体験をしたりしていますが、障害のない子どもとの交流は積極的にはできていません)(地域のイベントに参加し交流の機会をもつように努めています)
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16					(変更がある時は書面でもお伝えし、丁寧に説明できるよう努めます)
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15			1		(丁寧に説明できるよう努めます)
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	13	2		1	プログラムの案内は受け取ったが実際には参加できていない	(母子で通所する特徴は、お子様の「できた」をその場で共有でき、困り感を一緒に考え、成長を共に見守れることと考えています。これもペアトレの一環と考えています)
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16				個別の相談、それぞれの家族での課題への解決に向けた支援や面談はとても充実していると思う。 共通理解できており、大変助かっている	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15			1	子どもの発達の状況や課題について十分に伝えられてないと感じます。遊びながらだけでなく、面談ができれば話しやすくなると思いました。	(面談の機会を設けておりますが、希望があれば随時面談させていただきます)
	15 保護者サロンや母子通所を通して保護者同士の交流があるか	12	2		2		(保護者向けの学習会も含め、会場やオンラインで行っておりますので、ぜひご参加ください)
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16					(夜間、休日もほけっと携帯をスタッフがもっていますので、ご心配なことがあるときはご連絡ください)

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16					(本人が分かる伝達方法を使っています(PECS, 具体物、イラスト、写真、コミック会話など)) (ご利用されている時や、送迎時に意思疎通や情報伝達をするように努めます。電話やメールでもお互いに連絡を取り合えたらと思いますので、気になることがあればいつでもご連絡ください)
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14			2		(自己評価の結果は玄関のファイルに入れています。又、ぼけっと通信の配布やホームページにも掲載していますのでご覧ください)
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15			1		(マニュアルを玄関に設置しましたのでご確認ください)
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	3		1	訓練をしているかはわからないが、避難場所や災害時に備えた情報収集などはできている	(年2回、災害に備えた訓練を定期的に行っています。訓練日にご利用ではない方への情報発信に努めます)
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1			子どもは毎週楽しみにぼけっとさんに行っています。親としても、悩んでいることを相談して、解決に導いてくれるので大変心強く感じています。それぞれ個々の課題に親身になって寄り添って下さる温かい事業所です!!!	(好きをたくさん見つけて”伝えたい”という気持ちを育むお手伝いをし、ぼけっとが安心して通える場所になれるよう努めます)
	23	事業所の支援に満足しているか	16				スタッフ方には感謝しかありません。いつも笑顔で接してくださってありがとうございます。	(お子様、保護者の皆様と一緒により良いぼけっとを作っていけたらと思っています。これからもご意見おまちしています)

\*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3「活動プログラム」は、事業所の日々に支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことで、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4「ペアレントトレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。